

熱処理

溶射



●KHT処理の受託

カインド・ヒート・テクノロジー株式会社

▶TEL: 0748-31-0225 FAX: 0748-31-0229

滋賀県

ここが
スゴイ!

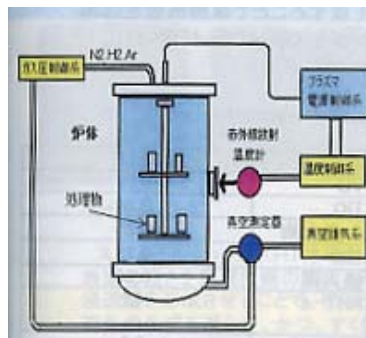
鋼に元素を拡散浸透させて表面を硬化 耐摩耗性と耐食性を付与する KHT 処理

KHT 処理は、元素を真空容器内のプラズマ放電により 350℃～700℃で拡散することにより寸法誤差・歪みも少ない、鋼の表面硬化を可能にする技術。さらに多種の表面処理と組み合わせることにより鋼の寿命を延長できる。適応材の幅は広く、鋼であれば処理が可能であり、CO₂も発生せず、環境にやさしい。



KHT 処理されたネジ切り用の転造ダイス（写真左）とギアの歯を削り出すホブ

■ KHT 処理装置の概要図



事業概要と躍進の契機

産官学の英知を結集して開発された KHT 処理

金型や機械部品に耐摩耗・高寿命をもたらす KHT 処理は、2008 年に大阪大学、滋賀県工業技術総合センターと他 5 社により、戦略的基盤技術高度化支援事業に認定されたときにスタートし、2010 年に実用化を達成した。

会社の強み・主力商品など

表面処理から完成品の受注まで対応

素材に歪の出にくい 350℃～700℃の低い温度領域を使用しつつ、雰囲気濃度の調整と時間管理により使用目的に適合した表面処理を行う KHT 処理。切削工具、打抜パンチ、プレス金型、ダイカスト型、機械部品等の耐摩耗性能を向上し、高寿命をもたらす。また金型や部品の耐久性を向上する他の表面加工技術も熟知している。部品図面の製作から材料、熱処理、表面処理方法についての確にアドバイスし、完成品までの受注にも対応する。

今後の事業展開

食品・医療分野の機械部品に新たな市場を開拓

2011 年度戦略的基盤技術高度化支援事業の認定を受け、龍谷大学と滋賀県工業技術総合センター他 3 社により、新規低温拡散表面処理による高耐久性アルミダイカスト用金型の開発に着手している。さらに、ステンレスの耐食性と耐摩耗性を兼ねそろえ、衛生上も安全な処理技術を活用し、食品分野・医療分野の開拓により事業拡大をねらう。

●企業プロフィール

〒523-0056 滋賀県近江八幡市古川町1823-2
代表取締役 種岡智一
設立:2009年(平成21年)
従業員数:5名
資本金:800万円

企業メッセージ

熱処理技術、表面改質技術を基盤におき、智恵と勇気を持って顧客に信頼を得るよう努力し、常に革新ある技術の創造により、広く社会に貢献しオンリーワンの企業を目指す企業に成長させたいと思っています。



代表取締役 種岡智一